



大学・学生とともにのぼす京都プロジェクト共同事業
—えいでんアート2024—
アートによる地域公共交通機関の活性化研究



連携企業名 叡山電鉄株式会社

- 事業名：えいでんアート 2024
- 実施体制：
 - 指導責任者：デザイン学部建築学科・教授 葉山 勉
 - 参加学生数
 - ①実数：9名（1年生5名 2年生1名 3年生2名 4年生1名）21作品、1団体 1イベント企画
＊えいでんアーティスト受賞者2名（国際文化学部 1年生1名、マンガ学部3年生1名）
 - ②展覧会：計9回開催、開催日：累計162日、来場者数：1,082名、人気投票総数：1,576票
- 事業実施期間：令和6（2024）年6月～令和7（2025）年3月
- 府政課題：
 - 3：子どもが大学生とともに文化芸術に親しむ取組や、地域の歴史や文化、暮らしに対する理解を有し、地域への愛着や誇りを持つ、心豊かな子どもを育む取組
 - 8：大学生が地域の観光資源に触れ、地域の人との交流の機会をもつことで地域の魅力を感じる とともにその魅力を同世代の大学生に共有する取組
- 事業目標：
叡山電車沿線に所在する本学の在学生や小学生が叡山電車や沿線の魅力を体感して、アート作品（文芸表現、写真、映像、マンガ、アニメーション、キャラクター、ファッション、楽曲、音声音響など）を制作し、その作品を一般に公開することで、叡電沿線に数多く存在する地域の魅力を、学内や校内、地域へ共有する
- 活動地域：叡山電車沿線（京都市左京区）
- 事業概要：
本学の協定先である叡山電鉄（株）、京都精華学園中学校・高等学校と連携して、在学生や中高生が叡山電車や沿線地域をアートで表現することで、地域の魅力向上と活性化を目的とした「えいでんアート2023」を開催する。
- 実施詳細
 - 活動一覧および叡電乗降客数比較

「えいでんアート2024」 活動一覧

	実施日時	展示日数	活動内容	展示場所	来場者・参加者	人気投票数	備考
1	9/27（金）	1	叡電社員向けプレゼン	叡山電鉄（株）社屋	17	1,046	社員コメント137件
2	10/26（土）-11/30（土）	36	学外展覧会	貴船口駅待合室「令月」		464	
3	11/1（金）-11/28（木）	28	学外展覧会	叡電運行車両「こもれび」号		13	
4	11/3（土）-11/4（日）	2	学内展示会・大学祭「木野祭」	キャンパス内講義室	1,013	680	
5	11/9（土）-11/24（日）	6	学外展覧会	出町柳駅ギャラリー	69	76	
6	11/11（月）-11/25（月）	11	学外展覧会	左京区役所区民ロビー		182	
7	11/25（月）-12/16（月）	19	学内展示会	京都精華大学情報館エントランス		70	
8	12/9（月）-12/15（日）	7	学外展覧会	京都精華大学アンテナショップ kara-S		85	
9	12/14（土）	1	学外展覧会	クリスマスステーションin八瀬（叡電「八瀬比叡山口」駅構内）		6	
10	2/1（土）-3/24（月）	52	学外展覧会	叡電運行車両「こもれび」号	1,099	2,622	
		163					

叡山電鉄 乗降客数の推移

（単位：千人）

	定期外	定期	合計
2018年度	4,421	3,235	7,656
2019年度	4,417	3,252	7,669
2020年度	2,249	2,295	4,544
2021年度	2,775	2,642	5,417
2022年度	3,609	2,864	6,473
2023年度	4,040	2,957	6,997
2024年度	3,780	2,660	6,440

＊2024年度は1月までの数値

4～1月比較	定期外	定期	合計
2019年度	3,941	2,855	6,796
2020年度	1,904	1,950	3,854
2021年度	2,355	2,293	4,648
2022年度	3,103	2,495	5,598
2023年度	3,497	2,576	6,073
2024年度	3,780	2,660	6,440

<えいでんアーティストに選出された作品>



- 成果
 - 市民、在学生等との交流
 - ①交流機会の創出：展覧会9回開催、開催日数計162日、来場者数1,082名（計測可能な会場のみカウント）
 - ②交流：来場者と作者の交流 展覧会受付でのやりとり、人気投票総数1,576票、叡電社員 17名からのコメント137件
 - 京都市立鞍馬小学校メモリアルプロジェクト作品の展示：在学生による小学生への撮影指導、交流、作品制作と展示
 - 制作物を介した在学生と市民との交流による学生の制作意欲を刺激
 - マスコミ取材等：KBS京都3/5（水）17:35～「きょうとDays」放映、3/24京都新聞取材（鞍馬小閉校式）

- 取組みを通じて
有志参加によるプロジェクト形式での実施だが、1年生の参加者が多いことは、入学初年度からと叡電沿線地域との連携活動に参加することで、地域理解が深まるとともに、地域住民に向けた制作モチベーションが高まることも期待される。



この取組は、学内の研究プロジェクト（学長指定課題研究「アートによる地域公共交通機関の活性化研究 ～えいでんアート～」）として実施したため、学生（アート制作者）は有志として参加した。結果、叡電や沿線地域に対する意識の高い学生が参画してくれたことで、質が高く、バラエティーに富んだ作品を展開することができ、市民からも好意的な評価をいただける結果となった。